

# 市民と議会の意見交換会報告書

令和4年11月7日

白石市議会議長 小川 正人 殿

報告者 総務産業建設常任委員会（1班）

（班長） 菊地 忠久

白石市議会意見交換会開催要領の規定に基づき、次のとおり報告書を提出します。

|      |  |           |       |
|------|--|-----------|-------|
| 日 時  | 令和4年10月23日（日） 10時00分～15時30分  |           |       |
| 場 所  | 白石市中央公民館 ホール   |           |       |
| 出席議員 | （班長）菊地 忠久  | （書記）角張 一郎 | 澁谷 政義 |
|      | 高橋 鈍斎  |           |       |
|      |  |           |       |
| 参加人数 | 14人（男 13人：女 1人）  |           |       |
| 意見交換 | <b>【意見交換の内容】</b><br>ワークショップ<br>テーマ：水害対策について<br><br>※ 詳細な内容は、別紙「意見交換での意見、課題等」のとおり |           |       |

意見交換での意見、課題等

総務産業建設常任委員会（1班）

【テーマ】水害対策について

**【市民の皆さまのご意見（ハード面）】**

- ・白石川、斎川は整備されてきているが、その他の中小河川は柳の木・葦などが生えており、流域面積を阻害している。維持管理に計画的な予算措置を検討すべきと思う。
- ・市道沖ノ沢郡山線が開通し、それに伴い流れに逆らう水路が設置され、障害物となっており、それが要因となり水害が起きている。原因を分析し、対策が必要である。
- ・災害時に、業者との協定により、排水ポンプの設置を検討してはどうか。
- ・館堀川は農業用水路としての用途があるため、流れが緩やかであり、下流域の川幅が狭いと思われる。そして、水門に障害物が詰まり流れを阻害している。対策が必要ではないか。
- ・側溝の管理が悪いため、道路が冠水する箇所がある。対策を願う。（上郡山地区）
- ・高速道路の法面に立木等があり、そのため側道との中の側溝が草等で埋まっている。対策を願う。（福岡深谷地区）
- ・自治会等で計画を立てて、側溝の清掃をしている所もある。減災のため自助努力も必要ではないか。

**【市民の皆さまのご意見（ソフト面）】**

- ・避難情報の伝達が、特に高齢者等に早い段階で必要である。高齢者世帯に防災無線の設置等を検討しても良いのではないか。
- ・セヶ宿ダムの緊急放流は大災害につながる恐れがある。ダムの情報をもっと伝えてほしい。
- ・防災関係の組織のメンバー間のつながりが薄いと感じる。そして、防災だけでなく、防犯、交通安全等の今ある組織との連携も大切である。
- ・災害時の要支援者への支援について、市において要支援者名簿を整備しているが、本当に必要な人は誰なのか、地域全体で常に情報共有する必要がある。情報の開示について検討する必要があると感じている。

### **【市民の皆さまのご意見（その他）】**

- ・ 森林の伐採、農地の荒廃、宅地の造成などにより、雨水の保水能力が低下していると感じる。減災対策として対応を検討すべきではないか。
- ・ 内水氾濫想定図の作成が義務化された。国の補助制度を活用し、作成を検討してはどうか。

### **（まとめ）**

最近の多発する異常気象には、多くの皆さんが危機感を持っており、実際被害にあった方の参加もあり、水害対策に対する様々な具体的な意見が寄せられた。

河川の維持管理については、計画的な立木の伐採及び土砂の浚渫を行うことが必要であるという意見と共に、既存施設の改修を求める要望もあった。

そして、側溝の維持管理については、地元自治会等で自ら泥上げ等を行っている所もあり、自助努力の取り組みも必要ではないかという意見もあった。

また、水害の要因として、山林、農地、宅地の保水能力が低下しており、改善対策が必要であるとの意見もあった。

災害発生時の避難情報の伝達については、特に高齢者世帯への伝達方法の課題が指摘され、改善の検討を求める意見があった。

また、要支援者の避難について、情報の共有がないことの指摘があり、情報開示の在り方を検討すべきである。そして、常日頃から、防災関連団体等の連携の必要性が大切であるとの意見があった。

いただいたご意見について、ハード的な要望については市当局に伝えたい。

その他、改善を要するご意見については、現状を調査し、市当局と共に改善等を検討したい。